

令和元 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	まごめちいきづくりすいしんきょうぎかい 馬籠地域づくり推進協議会	地域名	神坂地区	馬籠地域
ふりがな 代表者名	おおわき かずと 大脇 和人	会員数	21	人
事業名	竹あかりプロジェクト事業	延べ 参加人数 内(会員数)	18	人(地域外3 人)
総事業費 内(補助金額)	240,599 円 (200,000 円)	実施期間	令和 1 年 6 月 1 日から 令和 2 年 2 月 15 日まで	180人

事業 分類	番号	活動 分野	番号
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業 ②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業	③環境 ④観光・交流 ⑥林業 ⑩文化・生涯学習	③ ④ ⑥ ⑩

事業 内容	事業の目的	
	馬籠地域づくり推進協議会が、地域の繋がりを目的として行っている馬籠ルネッサンス事業「馬籠ルネッサンス 秋の陣 馬籠宿場まつり」島田公園ライトアップ・あかり街道で、三重県を中心に活動(伊勢志摩サミットでも市内にバンブーランプ仲間と作品を展示)を行っているcanaarea(カナエリア)にバンブーランプ(竹アート)の展示をお願いしたときに、彼らの活動を聞き、竹林整備もバンブーランプ作りの目的でもあることを知りました。 竹林整備や竹を利用できる作品づくりをととして、自立した地域活動を行いたいと考えています。	
	具体的な活動内容	
	馬籠ふるさと学校での制作活動の他に、短時間の空いた時間にも、製作活動がしたいと自宅で自主活動をすることもありました。地域の若い人も竹のあかりプロジェクトに加わり、道具の提供をしながら、簡単なアドバイスなど交流しながら、自分のペースで練習作業をしてもらい、作品づくりに取り組んでいけるようにもしました。	
	<p style="text-align: center;">主な活動の流れ</p> <p>竹切り あぶり・カビ止め 穴あけ 展示</p> <p style="text-align: center;">4月 6月 8月 10月 12月 2月</p> <p style="text-align: center;">島田公園ライトアップ 氷雪まつり</p>	
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)		
竹は一定の太さの竹が必要で、竹林が思うようになく、探すのが大変であり、課題でもあります。竹の長さ揃え・穴あけ・あぶり・カビ止めなど、竹の状態や天候により作業が難しく、作業の計画の検討やデザインと実際の作品完成図の相違など問題を解決しながら、昨年度から馬籠ふるさと学校内の旧教員住宅を作業場として制作活動をしてきました。 作品は11月の中山道宿場まつり島田公園ライトアップ会場や2月の氷雪祭りで馬籠宿内に展示し、多くの方に見ていただき好評でした。なかには、竹のあかり を見るため、遠方から来られた方やSNSに載せてくださる方も多くいました。		

今後の展開(自立に向けた活動)
<p>作品展示した11月の中山道宿場まつり島田公園ライトアップ会場や2月の馬籠宿の氷雪まつりで好評で、今後の作品制作活動の継続に繋がっていくと思っており、地域の若い世代が加わり活動を始めてはいますが、作品作りを気長に見守りながら、世代交流を続けて行こうと思っています。</p> <p>現在、SNSでの情報発信をはじめ、旅行勧誘雑誌の情報を載せたり、農泊事業でのワークショップ募集を計画したりと、作品制作以外のことでの継続活動も行い始めた今年なので、今後に向けて周囲の環境や状況に耳を傾けながら、作品制作活動をしつつできることから少しずつ活動範囲を広げていこうとも思っています。</p> <p>地域で計画中の農泊でのワークショップを試験的に行い好評でしたし、プロジェクトの参加継続や作品を見て「購入したい」「自分の地域でも展示をしてほしい」などの声に応えられる活動や希望者に簡単なワークショップや作品作りを一緒に行い展示するなどの活動など、バンブーランプ(竹アート)プロとして活動しているグループとも交流をしながら、地域の竹のあかり作品制作活動の拠点となりたい。</p>

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

竹切り



水洗い

洗う前



洗った後



焼き

焼く前



焼いた後



道具やライトなどの電気配線

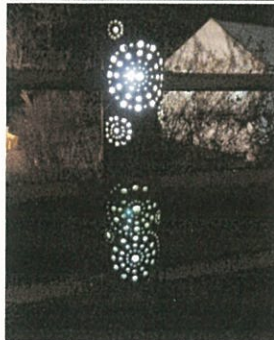
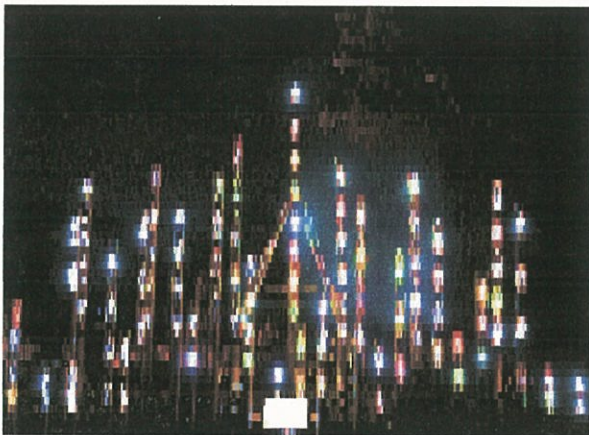
デザインの穴ごとに
入れます
ときにはカラーカバーやカ
ラーセロハンなどを
被せカラーのライトの
ように見えるように
加工します



コードの
長さに
合わせて
作ります



島田公園内と県道のあかりとり



(令和元)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ばんじーさかした		地域名	坂下・川上・山口・福岡・苗木・田瀬・下野		地区		
	パンジー坂下		会員数	23		人		
ふりがな 代表者名	みやしたくにこ		延べ 参加人数 内(会員数)	624		人(480 人)		
	宮下邦子							
事業名	中高年のためのなるこ踊り							
総事業費 内(補助金額)	412,403 円 (200,000 円)		実施期間	令和元年 6 月 21 日から 令和 2年 3 月 27 日まで				
事業 分類	番号	①		活動 分野	番号		①	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流					
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育					
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業				⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業の目的								
<p>地域住民、特に中高年の心身の健康維持・健康増進また会員相互の親睦を目的として平成15年にサークルを立ち上げ、現在まで活動を続けています。 今年度はやさか地区のみならず、福岡・下野・田瀬・落合にも活動を広げることを目的とします。 具体的には現在の会員数20名を30名に増やすことを目的とします。</p>								
具体的な活動内容								
<p>昨年度は坂下だけではなく川上・山口各地区に範囲を広げるべく活動をしたところ、1名の会員増にとどまりました。そこで今年度はその範囲をさらに広げ福岡・田瀬・下野・落合の各地域に無料体験募集チラシを作成し新聞折込を行いました。 また、今まで参加していなかった「福岡産業祭」にはじめて出演し、来場者の皆さんにチラシを配布し「パンジー坂下」の名前と活動を知って頂きました。</p>								
主な活動の流れ								
事業 内容	6月	チラシ作成4500部		2月	チラシ作成4500部(予定)			
	7月	チラシ新聞折込		3月	チラシ新聞折込(予定)			
	7~9月	無料体験実施(6回)(坂下公民館)		3~5月	無料体験実施(6回)(予定)			
	9月	チラシ作成4500部						(坂下公民館)
	10月	チラシ新聞折込						
	10~12月	無料体験実施(6回)(坂下公民館)						
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)								
<p>目的を達成するために、無料体験募集のチラシを新聞折込しました。 その結果6名の体験者がありました(4月1名・7月1名・10月4名)。そして、体験を通して5名の入会がありました。 各イベントにおいて、チラシを配布しましたがそこからの体験者はありませんでした。 最近 苦労している事はイベントへ参加する際のバスの手配です。民間のバス会社は大変高額なため借りるのが困難で、一方、市のバスはなかなか予約がとれない事です。</p>								
今後の展開(自立に向けた活動)								
<p>活動成果としては、上記のように5名の新入会員がいましたが、目標の10名には達していないので さらに活動していきたいと思えます。なお、新入会員のうち坂下2名・落合 2名・福岡1名でした。このことからまだ会員を増やす可能性はあると思えます。そこで、来年度は福岡だけでなく落合のイベントにも参加していきたいと思っています。また、各イベントに出演する事は地道な 普及活動になると思えますので、今後も少しずつ増やして続けていきたいと思えます。</p>								

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

令和元年8月3日・あんき訪問



10月19日・坂下芸能祭



10月27日・中津川菓子まつり



11月3日・福岡産業祭



レッスン風景



ふりがな 団体名	オヒメサクラマモルカイ		地域名	坂下		地区	
	乙姫桜を守る会		会員数	13		人	
ふりがな 代表者名	はらかずみ		延べ 参加人数 内(会員数)	69 人(66 人)			
	原 一 巳			専門職の植木職人を依頼			
事業名	乙姫桜を守る関連事業						
総事業費 内(補助金額)	295,458 円 (200,000 円)		実施期間	平成31 年 4 月 1 日から 令和 2 年 3 月 11 日まで			
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号 ③④⑩		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業の目的							
乙姫桜並木の管理と育成事業を行い、景観維持と環境の整備に取り組み、地域住民の協力による郷土愛を育む一助としたい。桜並木景観保持と徒長枝の除去による、交通障害解消、桜並木のピーアールおよび会員募集をおこなう。							
具体的な活動内容							
桜並木の保全管理のため、下草刈、つる切り、施肥、徒長枝の剪定、などにより、交通障害の解消を図った。チラシの新聞折込により、会員募集をはたらきかけた。							
主な活動の流れ							
事業 内容	*総会	*会員募集の チラシの新聞 折込の実施	*下草刈等の 通常管理作業 1回	*通常管理作 業1回	*徒長枝の剪 定作業 1回 *施肥とつる切 り作業 1回	*反省会	*総会
	3月	4月	6月	8月	10月 11月	12月	3月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)							
垂れ下がっていた徒長枝が除去され、日もよく当たり並木がすっきりした。会員が高齢者の為、激しい作業や高い所の作業は、専門家の植木職人を頼み実施した。路上の作業で、交通量も激しく交通整理に苦労があった。会員募集は新聞折込を実施し、会員からも誘いをかけ、女性1人を含み3人の、会員確保がえられた。							
今後の展開(自立に向けた活動)							
若い会員が少ないので、若者の参加をうながす取り組みを考えて行きたい。今年花が綺麗に咲けば、花見のイベント等計画したい。ライトアップも検討したい。							



剪定作業と下枝処理



クリンパイルによる施肥



つる切り作業

令和元年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

団体名	みやさかかつせいききょうぎかい		地域名	神坂・山口・坂下・川上		地区	
	みやさか活性化協議会		会員数	25		人	
代表者名	やすえさだお		延べ参加人数内(会員数)	112		人(68 人)	
	安江貞夫			運営会議(4回)・伐採作業(1日)		植樹作業(1日)	
事業名	みやさか花街道整備事業		実施期間	令和 1 年 6 月 1 日から			
総事業費内(補助金額)	308,131 円			令和 2 年 3 月 31 日まで			
事業分類	番号	① ②		活動分野	番号		③ ④
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		③健康・福祉 ④生活安全 ⑤環境 ⑥観光・交流		
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業の目的							
令和3年度、開通予定の神坂SAスマートインターをこの地域の変革のチャンスと捉え、スマートインターから神坂・山口・坂下・川上までをつなぐみやさか花街道(仮称)を整備し、観光客の流れを作り、観光客の増加による経済効果と、この地域を訪れることにより、地域の文化・特色触れる事により、他地域からの移住定住の促進につなげ、地域の活性化を図る。							
具体的な活動内容							
神坂SAスマートインター出口から、馬籠から山口榎街道、県道3号線、夕森公園線を経由し、夕森公園までの植栽可能な街道沿いに、地域住民と協力して花桃・モミジの苗木430本を植栽する予定。							
事業内容	手入れ						
	植栽準備						
	計画	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)							
当初は、どこでも植栽可能と考えていましたが、実際に選考してみると、様々な事(日陰になる、植えられても手入れが困る、管理はどうするetc)で植栽個所の選定が難しく、また、植栽可能な場所は荒廃地が多いので、植栽までの伐採などの準備作業が必要になった。但し、地域にとっては、永年の荒廃地が手入れされ景観の改善につながり、植栽後の手入れを行う事により荒廃地化の防止と、景観整備作業による地域の見直しと連帯感、が生まれ、郷土愛につながっていく期待を持っています。また、作業日の選定も広域の為、地域行事等と重なり調整も大変でしたが、たくさんの方に参加していただき作業も予定通り終える事が出来ました。							
今後の展開(自立に向けた活動)							
植栽個所は荒廃地が多くなるので、植栽後の手入れ(ツル切り、除草等)をこまめに行わないと樹木の生育が悪くなるので、地域住民の参加と自主的な活動に結び付ける必要があります。また、開花・紅葉時期には地域での活動(のぼり旗、案内板の設置、整備等)を行えるように進めていきたいと思っています。							

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



検討会状況



植栽地伐採作業中



伐採・集積作業中



伐採作業完了



植樹作業中



植樹完了

(令和元)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	かわうえもみじまもりたい	地域名	川上	地区		
	川上もみじ守り隊	会員数	16	人		
ふりがな 代表者名	かまだ こうぞう	延べ 参加人数 内(会員数)	37 人(37 人)			
	鎌田 康三					
事業名	県下一のもみじの里を目指す活動					
総事業費 内(補助金額)	209,460 円 (200,000 円)	実施期間	令和元 年 8 月 3 日から 令和2 年 3 月 31 日まで			
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	⑥	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業					
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業						
事業 内容	事業の目的					
	平成4年から川上地区住民が建立自然公園「夕森」にもみじの植栽を続けてきました。現在まで公園内に15,000本以上のもみじを植栽し、その手入れをボランティアグループ「もみじ会」により行ってきたが、メンバーが高齢化し、その活動がままならなくなってきました。新しくボランティアグループ「川上もみじ守り隊」を組織し、県下一のもみじの里を目指す。					
	具体的な活動内容					
	植栽したもみじの苗が独り立ちできるまでの手入れ、下草狩り、伐採、つる切り、施肥等、又成木したもみじの枝打ち、つる切り等を行う					
	主な活動の流れ					
			伐採 施肥	つる切り 剪定	伐採 下草処理	地拵え
	4月	6月	8月	10月	12月	3月
	具体的な活動成果（失敗や苦勞したこともご記入ください。）					
	8月 もみじ手入れ計画の立案の為の現場確認 下柳橋機関車展示場から旧山荘跡地から鈴根沢堰堤まで					
	10月 YOU遊広場周辺の雑木等の除草作業 旧浅野宅横雑木及び草の撤去					
12月 マス池上法面 雑木伐採と下草狩り もみじの木にカラーテープの取り付け						
3月 遊歩道の急斜面の雑木切を作業委託						
今後の展開(自立に向けた活動)						
2年目 ボランティア会員数を30名程度に増員する。川上川左岸側、巢乗谷出合い付近にもみじ苗20本程度植栽する。苗木植栽力所の伐採、つる切りを行う。						
3年目 ボランティア会員数を50名程度まで増員する。ふれあいキャンプ場への遊歩道沿いのもみじの手入れと道路の整備を実施する。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください



You遊広場の石垣の雑草除去



You遊広場のつつじを覆うごそば除去



第69回記念植樹場所の下草刈り



第70回記念植樹場所の下草刈り



マス池上の急斜面の倒木処理



マス池上の急斜面での雑木除去作業



チェーンソーで道を開ける



画面右側が整備された場所

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

防災訓練準備 (R1/08/31)



支部局固定アンテナ設置

1. 6kw発電機



防災訓練本部局 (R1.09.01)



↑ 角領R1.08.13 ↓ 小郷R1.08.24



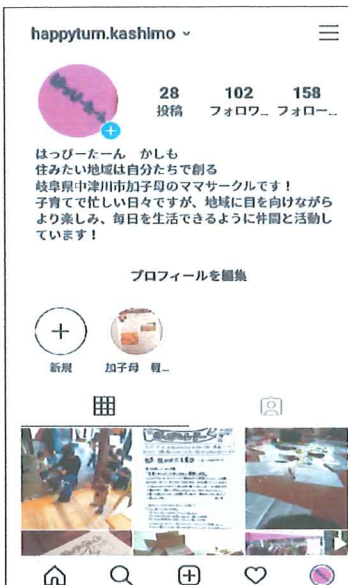
↑ 万賀R1.08.13 ↓ 中区R1.08.15



ふりがな 団体名	はっぴーたーん		地域名	加子母		地区
	はっぴーたーん		会員数			7人
ふりがな 代表者名	こじま みき		延べ 参加人数 内(会員数)	95		人(70 人)
	小島 未来					
事業名	地域を創るママ力向上事業					
総事業費 内(補助金額)	206,276	円	実施期間	令和 1 年 5 月 29 日から		
	(200,000	円)		令和 2 年 3 月 31 日まで		
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	⑪	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業の目的						
<p>1、加子母地域の女性の方で、子育て世代のお母さんをサポートする場やよりよい子育て環境、仕事の獲得などに関わる仕組みをつくり、住みたい地域を自分たちで創ること。</p> <p>2、加子母の情報を集めて発信し、加子母に愛着をもってもらうこと。</p> <p>3、加子母の女性が子育てや家事の合間を活用して少しでも収入を得て子育てや生活を楽しむことができる環境を創り、地域創りに関心を持ってもらい会員を増やしていくこと。</p>						
具体的な活動内容						
<p>1、活動スペースの環境作り</p> <p>2、加子母軽トラ市への出店(活動の宣伝活動、キッズスペースの設置、リユース服の販売)</p> <p>3、LINE@やインスタグラムで情報の発信</p> <p>4、希望者に内職の振り分け</p> <p>5、イベントの開催(アロマオイル作り教室、シルクスクリーン教室、ダンス・ヨガ教室)</p> <p>6、はっぴーレターの発行(加子母地域の方に活動報告と子育て世代の声を届ける月刊通信)</p> <p>7、ママが活躍する団体に研修</p>						
主な活動の流れ						
事業 内容		→かしも軽トラ朝市への出店				
		○アロマオイル作り教室	○ヨガ・ダンス教室			
	→はっぴーレターの発行					
				→インスタグラムで情報発信		
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
<p>私たちの活動に対して、お声がけいただけることが多くなっていきました。はっぴーレターを読んでいたいたり、かしも軽トラ朝市のブースで声をかけていただき少しずつ加子母のママが集まって行動をしていることが認知されはじめているのかなと思います。イベントでは、目的をもって共に取り組むことでそれぞれが得意な分野で協力し合えていい経験となりました。今回初めて託児を設けて、お母さんが子供を預けて活動できることのありがたさを実感しました。地域の方を上手に巻き込みながら活動されているNPO法人みらいろさんを視察できて今後に生かせると感じました。</p>						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<p>今年は、様々な加子母内の女性団体の方と協力してイベントを開催させていただいたり、情報交換の交流の場に参加させていただく機会がありました。今後もNPO法人みらいろさんの研修で学んできたことや、今年の経験を生かして加子母の先輩女性団体の皆さんと協力しながら活動できるといいと思います。未就園児の母親の状況は毎年変わっていくので、新たにメンバーを募集する方法を考えたり多くの未満児を育てるお母さんが地域創りに関わる仕組み作りを進めていながら加子母全体の方にも活動を知っていただくために周知活動をしていきたいと思います。</p>						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

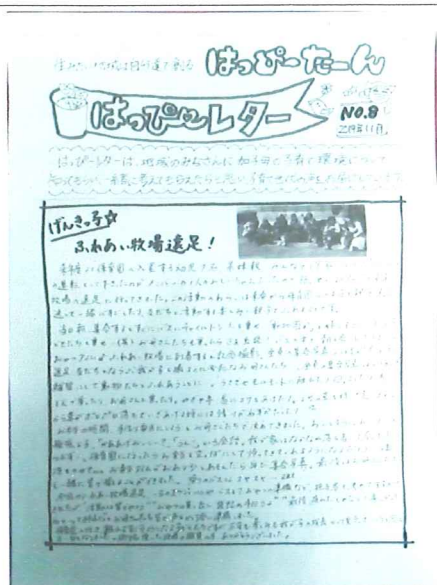
活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



Instagram



リユース服の回収



はっぴーレターの発行



アロマオイルスプレー教室



シルクスクリーン教室



活動拠点で準備作業



プロ講師を招いてダンス・ヨガ



かしも軽トラ朝市へ出店



下呂のNPO法人みらいろへ視察

(令和元)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	かしもけいとらあさいちじっこういいんかい		地域名	加子母		地区
	加子母軽トラ朝市実行委員会		会員数	10		人
ふりがな 代表者名	くまざわひろし		延べ 参加人数 内(会員数)	3000 人(60 人)		
	熊澤 博志			顧客数=月平均300~400名、出店者数=月平均10~20店舗		
事業名	加子母軽トラ朝市推進事業					
総事業費 内(補助金額)	230,000 円 (200,000 円)		実施期間	新元号 元 年 4 月 1 日から 新元号 元 年 12 月 15 日まで		
事業 分類	番号		活動 分野	番号		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する: ○			⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業の目的						
本事業は地域おこし事業で、軽トラ朝市の開催を通して、地域住民の生きがいづくり、収入増、農地の有効活用 を推進することを目的としています。						
具体的な活動内容						
<p>1、6月~12月の毎月第3日曜日、午前9時から12時まで道の駅かしも第2駐車場にて「加子母軽トラ朝市」を開催している。</p> <p>2、野菜、手作り品、路上ライブ、飲食物の出店を推進する。また、若者から年配の幅広い世代の住民への広報活動や新規出店を促し、技能向上のための研修につとめている。</p> <p>3、事業の推進にあたっては出店者の中から「軽トラ朝市推進委員」を選んで毎月一度の会議で、イベントや研修・質の向上、出店者拡大などを話し合っている。住民への周知活動として、毎月新聞折り込み広告を入れ、広報システム放送で前日から4回放送を入れ集客を図っている。</p>						
主な活動の流れ						
事業 内容	路上ライブ、餅、焼き芋、路上ライブ、餅、焼き芋、路上ライブ、餅、焼き芋	路上ライブ、餅、焼き芋、路上ライブ、餅、焼き芋	路上ライブ、餅、焼き芋、路上ライブ、餅、焼き芋	路上ライブ、餅、焼き芋、路上ライブ、餅、焼き芋	路上ライブ、餅、焼き芋、路上ライブ、餅、焼き芋	路上ライブ、餅、焼き芋、路上ライブ、餅、焼き芋
	6月	7月	8月	9月	10月	11月
具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）						
<p>前年度は7~12台の出店者だったが、今年度は平均15台程度が出店するようになった。出店する店が月によって変化し、多様化している。これは毎月出店できなくてもできる月だけでもよいことが周知されてきた結果でもある。毎月新しい人から出店申し込みがあり、人数は月毎に30名~40名が出店している。イベント開催により来客者数も300名~500名が来るようになった。月一回の「軽トラ朝市推進委員会」定例会議により、運営に活気が出てきた。特に路上ライブは毎月欠かさず行われ、多世代が演奏。「かしも軽トラ市の歌」も周知されてきた。開催や出店者の拡大、出店種類の多様化、多団体との連携(道の駅かしもとの連携による、持ち投げイベント、むら協農業分科会による野菜品評会、むら協防災分科会による地震体験車など)が進んだ。また、広報放送や新聞折り込みによる住民への周知が進み、楽しみにしてくる客が増えた。飲食店舗も五平餅や焼き芋、ベルナルのクレープ店、伊那屋の饅頭などができたが、飲食で集客しやすいのでもっと飲食の店を増やしたい。店舗の配列の仕方も工夫を要する。</p>						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<p>軽トラ朝市推進委員会を中心に、とりくみたい課題は多い。会場を上区広場や空き地に広がるくらいの出店者の増加、品質の向上のための研修、客の満足度をあげるための店舗の種類増加、イベントの工夫、飲食店の出店への努力、他団体との連携(道の駅、むら協農業分科会、むら協防災分科会、子育てママのサークル「はっぴーたん」、ママの手作りショップの女性グループ、むら協女性分科会、老人クラブなど)との連携をすすめる。軽トラ市の活性化が住民の収入増につながる取り組みをどんどん増やしていく。</p>						

活動状況写真等（野菜販売以外のイベントを毎月工夫して開催している。）



＜毎月、様々な集客イベントを企画する。＞
 軽トラ朝市会場を使って毎月様々なイベントをし、集客している。写真は「道の駅かしも」とのコラボによるくじ入り餅なげイベントと豚汁のふるまいを行っている様子。

＜年度最後のサンキューフェスタで感謝祭＞
 最終日の12月も、サンキューフェスタと名うってくじ入り持ち投げイベントや豚汁のふるまい。当たりくじの景品は、野菜引き換券や道の駅の買物券、商品などがあたる。257号線を通る客も集客



＜住民の活動意欲が生かせる場の提供＞

むらづくり協議会少子化対策検討会議から生まれた子育てママのサークル「はっぴーたーん」が毎月子供が遊べるキッズコーナーを出店し手作りの品や不用品バザーで運営している。五平餅や手作りのパンなどの飲食物の店や手作りの品グループの「ママトラ」、加子母在住のフランス人のベルナルのクレープの店等が出店して盛り上げている。今後は、何らかの

＜住民のお楽しみや発表の場の提供＞

毎月、若者からお年寄りまで路上ライブをやってくれるので、歌声を聞きに客も来る。「かしも軽トラ朝市の歌」も歌ってくれる。

住民が楽しむ場の提供は軽トラ朝市の特徴でもある。



＜農業団体との連携強化と研修の場の設定＞

花やトマトなどの専業農家にも出店してもらっているが、加子母むらづくり協議会の農業分科会が毎年「野菜品評会と展示即売会」を開催してくれて、野菜品質の向上に役にたっている。今後は専門家による栽培研修会もできるとよいと考えている。

＜住民の意識や関心の向上の場の提供＞

加子母むらづくり協議会の防災分科会が主催。震度7が体験できる地震体験車や日赤奉仕団女子部の防災食の試食提供もある。地域住民にアピールしたいことを啓蒙する場所の提供は大切なことだと考えている。

令和元年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ブラック ビー クラブ BLACK BEE CLUB		地域名	付知地区				
			会員数	20人				
ふりがな 代表者名	はやかわ としひろ 早川 利廣		延べ 参加人数 内(会員数)	244人(20人)				
事業名	ハイバチで地域づくり ～食文化を次世代につ繋ぐ～			総会 12人、蜂追い 53人、取材、交流会 34人、ンテスト打合わせ 13人、他地区 はい蜂コンテスト 12人、付知はい蜂コン テスト 110人、反省会 10人				
総事業費 内(補助金額)	324,593円 (200,000円)		実施期間	平成31年 6月 5日から 令和 2年 1月31日まで				
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号	⑪		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業				①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他					
事業 内容	事業の目的							
	付知町では、昔からハイバチを飼養して蜂の子やイナゴを捕獲し食べることで食生活における 滋養分を補う食虫文化がある。 この地元に残る文化を次世代へ継承し世代間交流による地域づくりを目的とし、地元の若い人 たちに蜂を追い、飼育したへボ(蜂の子)を食べてもらうという体験を通じ、高校生から高齢者 まで交流を図りながら次の世代に受け継ぎ地域の活性化につなげる。							
	具体的な活動内容							
	・育てる蜂の巣を見つける蜂追い体験から巣箱の設置・飼育、蜂の幼虫抜き体験や調理をして試 食。 蜂追い体験等を楽しみながら世代を超えた交流を行い、活動の活性化と継続して活動していく ために関わる人を増やしていく。 ・付知 BLACK BEE CLUBはい蜂コンテストの開催(蜂抜き体験、試食会、講演会)、蜂追い体 験の開催、他地区のはい蜂コンテストへの参加、新商品開発、販売。							
	主な活動の流れ							
	・総会	・蜂追い会 ・蜂追い取材 ・中国・南アフリ カ共和国知の 交流会	・蜂追 い	・第20回付知 BLACK BEE CLUB はい蜂コンテスト ・他地区の大会参加 ・蜂追い	・他地区の大会 参加 ・全国地蜂連合 会作文コンク ール表彰式	・反省 会	・書類整理、完 了報告書、活動 報告書等作成	
	6月	7月	8月	10月	11月	12月	1月	
	具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)							
	・第20回付知BLACK BEE CLUBはい蜂コンテストを開催し、県内外から多くの蜂の巣を出品していただき、盛 大に開催することができた。講演会では立教大学の野中教授やフードコーディネーターの上村氏からはい蜂に ついていろいろな話を聞くことができました。また、蜂ぬき体験や試食会を行い、訪れた方々にはい蜂の良さを 知っていただきました。 ・他地区のはい蜂コンテストに参加し、情報交換ができた。 ・中国・南アフリカ共和国との交流会を行い、意見交換ができた。 ・購入した防護服を使用し、大学生等を対象に蜂追い会を実施したが、地元の若者の参加がなかった。PR不 足。							
	今後の展開 (自立に向けた活動)							
地域に伝わる伝統的な食文化を若者たちに継承し、情報発信することで地域資源の魅力アッ プにつなげていく。また、昆虫食は昨今注目を浴びており、当地域ではへボは高級食材として取 引されており、新商品の開発などにも取り組み多くに人に地域資源として再発見してもらい、安定 的な出荷をおこなうことにより、収入を増やしていく。								

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

7/21 へぼ追い体験・交流会



7/28 へぼ追い体験



10/26 コンテスト用 巣箱からの取り出し



10/26 コンテスト はい蜂抜き



10/26 付知はい蜂コンテスト講



10/26 付知はい蜂コンテスト 表



令和元 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	つけちさいくりんぐたいかいじっこうしいんかい		地域名	付知	地区	
	付知サイクリング大会実行委員会		会員数	32	人	
ふりがな 代表者名	みうら しゅういち		延べ 参加人数 内(会員数)	255 人(32 人)		
	三浦 秀一			参加者 120名 スタッフ135名(GTBC21名、中学生17名、商工会関係27名、交安協8名、実行委員会関係団体43名、岐阜大学生6名、保健師3名、総合事務所4名、まち協事務局6名)		
事業名	「～森林をかけぬけろ～ 付知サイクリング大会」		実施期間	令和元 年 6 月 5 日から 令和 2 年 1 月 15 日まで		
総事業費 内(補助金額)	627,500 円 (200,000 円)					
事業分類	番号	②		番号	④	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		活動分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業内容	事業の目的					
	市内をはじめ全国の皆さんを対象に林道を活用したサイクリング大会を開催し、木のまち付知町の大自然を感じながら、紅葉とスポーツに親しんで頂く機会を作る。また、地元団体の協力を得て、地域の特色や観光資源を生かした大会にすることで「付知町」をPRする。付知町の豊かな自然と街中の魅力を体感して頂き、地域の特色や観光資源を紹介していくことで地域商工の発展につなげ市内外の方に付知の素晴らしさをPRしリピーターを増やし観光の振興を図る。					
	具体的な活動内容					
	付知町内及び近隣地区の70kmのコースを自転車で巡り大自然を味わってもらう大会。要所にはエイドステーション(休憩所)を設置し、郷土料理をはじめとする地元特産品を置き当地域の魅力を満喫してもらう。また付知中学校にボランティアを依頼し、中学生に当地域の自然と特産品に興味を持ってもらう。					
	主な活動の流れ					
	大会概要作成	コース試走	コース設定	エントリー開始	コース整備	・書類整理、完了報告書、活動報告書等作成
	現場確認	各打合せ		HP完成	本大会	
	他地区イベント視察			AED救命講習	備品準備	協力団体御礼
	実行委員会	実行委員会	実行委員会	実行委員会	実行委員会	反省会
		4月	6月	8月	10月	12月
具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)						
エントリー開始から7時間半で定員100名を超え追加合わせ120名申込。キャンセルが18名有ったが、全員完走できた。参加者感想では各エイドステーション、ゴールでの提供品は十分有り、沿道の見送りも多く地域の歓迎ぶりを感じて頂き大好評で、次回も参加したいとの声を多く頂いた。配布した倉屋温泉割引券の利用や提供品「栗きんとん」などを後日買い求めて来町した人達がいた。コース高低の激しさと苔は気になった人もいた。前日を中心にコース枯葉などの清掃などに回ったが非常に手間が掛かった。当日もスタッフの人員が足りなかったという反省も出た。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
参加者の評判を受けて、第2回大会を行うことを実行委員会にて決定した。今回の反省点を生かしてより充実した大会を行い、さらに募集人員も増やす。また地域の特性を生かした内容をより工夫する。町民にボランティア募集を掛けて行事内容の浸透と人数確保を図る。次回以降、よく検討し参加費の設定を上げることで運営に余裕を持たせる。						

※この様式は活動事例集として編集し自由のて変更しなさい

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



中学生バイクラック絵付け



AED救命講習



コース内ゴミ拾いボランティア



コース清掃(前日)



大会集合写真



エイドステーション

平成 31 年度(令和元年度) **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ひでよしのきりかぶぼぞんかい		地域名	高山	地区	
	秀吉の切り株保存会		会員数	26	人	
ふりがな 代表者名	こまだ よしあき		延べ 参加人数 内(会員数)	49 人(38 人)		
	駒田 義明			4月27日3人(3人)	5月18日3人(3人)	
事業名	秀吉の切り株保存事業		7月13日2人(2人)	9月1日12人(3人)		
			10月27日2人(2人)	11月2日8人(8人)		
総事業費 内(補助金額)	258,507 円	(200,000 円)	実施期間	令和 元 年 6 月 1 日から		
				令和 2 年 2 月 15 日まで		
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	④⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業の目的						
朝鮮出兵時に豊臣秀吉の命令で伐採された切り株の保存と伝承を行い、観光客が増加する中、常磐神社、常盤座、秀吉の切り株をセットにしてPR及び売り出すことができる						
具体的な活動内容						
①切り株周辺の環境整備と既設の防護柵や説明板等の点検・整備 ②散策路の階段を防腐処理済みの材料への取り換え ③「常磐神社」「常盤座」「秀吉の切り株」の3つの宝のパンフレットの増刷 ④現地の案内板・説明板の増設						
主な活動の流れ						
事業 内容	役員会 環境整備	環境整備	環境整備 案内板の設置 説明板の取り換え	整備材料の準備 散策路の整備	散策路の整備 役員会	
	4・5月	7月	9・10月	11月	12・1月	
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
1年目の保存事業で整備した散策路の階段が生丸太であったため腐敗が進行していた。それを腐敗防止処理がしっかりなされた物に変更できた。また、それぞれの階段を水平に設置して見学者の滑りを防止できた。しかし、会員の高齢化のためかなり苦しい作業になった。2年目の事業で作製したパンフレットが全部配布でき、「秀吉の切株」「常磐神社」「常盤座」の3つの宝を広く伝えることができた。さらに今年3000部を増刷でき、さらに広く伝えることができた。1年目に設置した案内板の一つの文面が不鮮明になってきた。それを長持ちできる材料に取り換え文面も鮮明にすることができた。また、不足していた案内板を常磐会館の外壁に設置し、さらに見学しやすくなった。切り株の腐敗防止については県の専門機関などへの問い合わせをしているが、良い方法が見つかっていない。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
今後は、防護柵と散策路の階段の点検・整備を続けたい。散策路の周辺の雑草の刈り取りや倒木、落下した枝や繁茂する藤蔓などの除去などの環境整備も継続して行う必要がある。増刷したパンフレットは、今後も常磐神社や常盤座、高山小学校、保育園など各団体に引き続き配布して利用をお願いしたい。また、必要に応じて改良・増刷していきたい。小学校の学習への利用は、今後も学校側と協議して進めたい。また、公民館、市の観光施設、文化施設などでも利用をお願いしたい。「切り株」に関する歴史の調査・研究や資料収集を続けたい。切り株の腐敗防止策が見つかっていない。今後とも引き続いて追求する必要がある。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



散策路の階段の取り換え(1)



同(2)



同(3)



常磐会館に取り付けた案内板(右の矢印)



不鮮明になった古い説明板



新しい説明板の取り付け作業

(令和元)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ゆめのおんがくさいじっこういんかい		地域名	福岡		地区
	ゆめの樹音楽祭実行委員会		会員数	10		人
ふりがな 代表者名	みうらゆかり		延べ 参加人数 内(会員数)	1080 人(90 人)		
	三浦ゆかり			4月23日 10人(10人)、5月21日 10人(10人)、 6月18日 10人(10人)、7月23日 10人(10人)、 8月20日 10人(10人)、9月10日 10人(10人)、 9月24日 10人(10人)、10月13日 1000人(10人)、 10月14日 10人(10人)		
事業名	ゆめの樹音楽祭		実施期間	2019 年 4 月 23 日から 2019 年 10 月 14 日まで		
総事業費 内(補助金額)	691354 円 (200000 円)					
事業分類	番号	②		活動分野	番号 ⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業内容	事業の目的					
	音楽を通じて子供たちと大人が交流することにより将来の夢や希望をもってもらうこと。地域活性化を目的とし、日本の将来を担う子供たちの夢と希望を大人たちがサポートして夢を育て人を育てる活動を目的とする。					
	具体的な活動内容					
	●事前に各高校へ出向き、プロ音楽家と高校生の交流とリハーサル。●当日ステージでの高校生とプロ音楽家の共演。●会場外では来場者が楽しめるようフリーマーケット、飲食屋台のお祭り。					
	主な活動の流れ					
	企画、立案	掲示物作成 印刷物作成	ポスター配布 チラシ配布作業	本番		
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
当日各地でのイベントが重なりフリーマーケットが目標数に達しなかったこと。また、台風の影響で高校生の自宅待機により前日各高校を廻るワークショップが中止となり、入念な音合わせが出来ないことがあったが、当日は会場に入りきれない来場者となり、イベントそのものは成功だった。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
プロ音楽家と高校生の交流をもっと事前から行い、今回のような台風による不測の事態を避ける工夫をすること、一般認知を高めるために宣伝活動や子供たちの親御さん以外もイベントを楽しめる工夫をすること。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



令和1年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

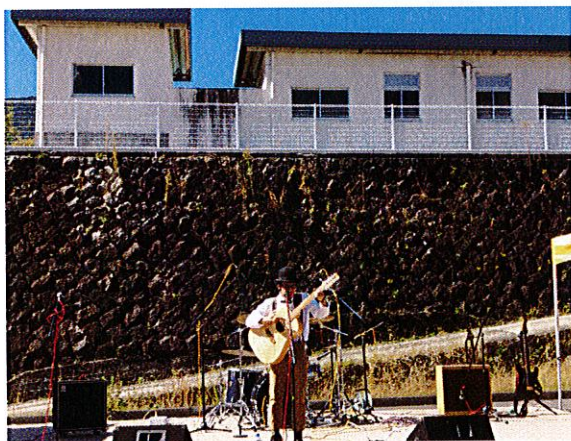
ふりがな 団体名	ひるおんこねくと		地域名	蛭川		地区
	蛭音コネクト		会員数	7		人
ふりがな 代表者名	たまたに まさゆき		延べ 参加人数 内(会員数)	63		人(7 人)
	玉谷 正幸					
事業名	蛭音祭					
総事業費 内(補助金額)	124,726 円		実施期間	令和 1 年 7 月 1 日から		
	(120,000 円)			令和 2 年 3 月 6 日まで		
事業 分類	番号	③		活動 分野	番号 ⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業の目的						
<p>蛭川は文化協会があり年間においても協会の団体の発表などがありますが、地元において若者から中高年までが自分で好きなことや趣味でやっていることなどを発表する機会がなく、なんとかそういう人たちに人前で発表する喜びを体験してもらい、その経験を生かして次の地元にいる世代の子どもたちや地域の人との繋がりを広げていくことを目的とします。</p>						
具体的な活動内容						
<p>蛭川の地域でさまざまな活動をしている人にジャンルを問わず募集をして様々な取り組みを人前で発表をして地域全体で蛭川を盛り上げてくイベントを企画していきます。またすでに定着している地域のイベントにも積極的に参加をしてステージをサポートしていきます。</p>						
主な活動の流れ						
事業 内容	イベント企画	→				
		出演者募集	→			
		イベント準備開始	→			
				イベント開催	→ 反省・意見交換	
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
<p>第4回の今回は事前に参加募集のチラシを蛭川各区に配りステージおよびフリーマーケットのブースの募集を呼びかけました。結果はステージ1組、フリーマーケット1組の申し込みがありましたが、なかなか思うように参加団体が集まらず、次回以降の募集に関して宣伝の仕方やイベントを知ってもらう方法など検討していく勉強になりました。今回も昨年同様、ママさん朝市との同時開催で10時から15時の5時間のイベントで行いました。出来るだけステージを見てもらえるようにママさん朝市出店の飲食の販売および飲食スペースをステージ前に持ってきて工夫をしました。この時も台風がきて天候に不安がありましたが何とか快晴になり演奏5組、ダンス2組、フリマ1組にて盛り上げてイベントを行うことが出来ました。</p>						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<p>イベント自体の宣伝を今後色々な方法で行っていき、次回はママさん朝市との同時開催ではなく独立したイベントを企画して、会場を天候の心配のないひとつばたご広場で計画します。またイベントスペースにて飲食の出店とフリマの出店を募集してブース出店料にて収益確保を目指していきます。また団体としては今後は子供向けの音楽体験ワークショップなども計画して参加料など収益にしてく方向でやっていければと考えています。活動に賛同していただける方などをボランティアスタッフとして招いて、色々と文化指導が出来る方などに協力を呼びかけ大きな輪にしていきたいです。</p>						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

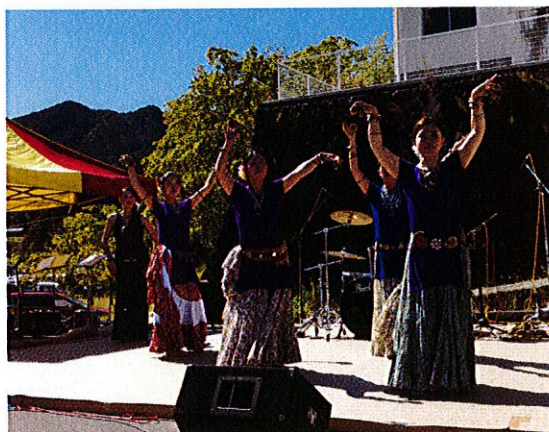


飲食ブースとスペース

参加募集チラシ



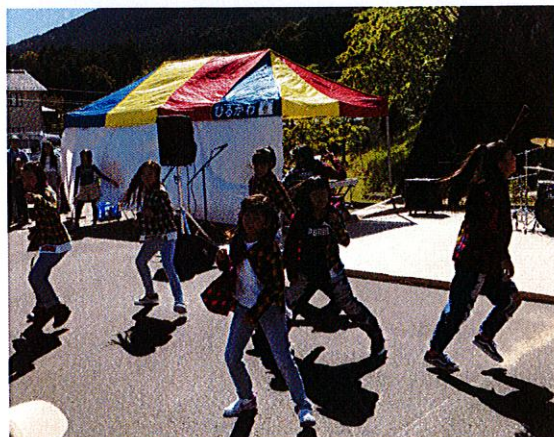
演奏の様子



ベリーダンスの様子



バンドによる演奏



白熱のキッズダンス

2019 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	えびすざとものかい		地域名	蛭川		地区
	蛭子座友の会		会員数	27		人
ふりがな 代表者名	やまおか えいじ		延べ 参加人数 内(会員 数)	1140 人(108 人)		
	山岡 英二					
事業名	蛭子座の積極的活用 推進プロジェクト					
総事業費 内(補助金額)	428,223 円 (200,000 円)		実施期間	令和 元 年 7 月 2 日から 令和 2 年 3 月 10 日まで		
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内容	事業の目的					
	全国でも数少ない劇場型公民館で中津川市有形文化財に指定されている蛭子座を、歌舞伎だけでなく芸能・音楽・講演・研修会など、できるだけ多くの催しや活動に活用していくため、地域の要望を積極的に取り入れながら企画・運営を推進していく。 ○地域の課題(高齢化、過疎化、健康医療、等)の現状と対策を学ぶ研修や講演の誘致を図る。 ○地域の文化に刺激を与えられる催しを企画・運営し、地域文化の向上を図る。 ○蛭子座での催しを通して、地域の人同士の交流をさらに深め、願いを実現できるよう努める。					
	具体的な活動内容					
	蛭子座を活用した催しの企画と運営及び協力 ・昭和の歌コンサート(7/6)・・・中津川文化会館お届け公演の運営協力 ・演劇「悔悟の記録」鑑賞会(8/16)・・・企画・運営 ・ひるかわ音楽祭に多治見少年少女合唱団の招待(10/26)・・・準備・運営協力と諸経費の支援 ・映画「人生フルーツ」上映会(12/7)・・・企画・運営 ・スクランブルコンサート(2/16)・・・企画・運営の協力					
	主な活動の流れ					
	友の会設立	6月コンサート				
	会員募集	準備	8月演劇鑑賞	10月音楽祭	12月上映会	2月コンサート
	年間計画	7月コンサート	9月音楽祭	11月上映会	1月コンサート	
			準備	準備	準備	3月反省会
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)						
・計画していた催し物の企画運営及び支援は総て実施。多くの方に参加していただき、友の会のメンバーと関わってもらった人達に充実感を感じていただくことができた。 ・どの催しも予想以上の参加で、目的の文化的な啓発や地域の人達の交流が達成できた。 ・地域課題解決に向けての研修や講演、子ども達向けの映画上映等、今年度は実施できなかったため、次年度に引き継いで企画運営を進める。 ・友の会について、地域住民への理解が十分に得られていないので、啓発し会員数を増やす。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
・蛭子座活用の企画・運営第二ステージ・・・地域課題解決に関わる講演会・映画会等の実施 ・映画「二宮金次郎」上映会・・・中津川市主催/文化会館お届け公演として運営に協力 ・瀬戸昌之先生「持続的な社会の構築」講演会の開催・・・企画・運営(振興会と連携) ・高木健太郎医師「認知症を学ぶ」講演会の開催・・・企画・運営(社協と連携) ・子ども向け映画「この世界の片隅に」上映会・・・企画・運営(青少年健全育成蛭川支部と連携) ・「地底の歌」合唱団によるコンサート・・・企画と運営に協力						

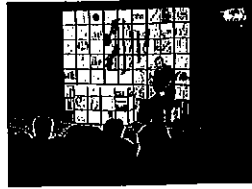
蛭子座友の会より **令和元年度の活動報告**

7月 北海道うたたび座コンサート
7/6(土) 350名



文化会館ホール改修に伴う、お届け公演として実施し、沢山の方に楽しんでいただきました。

8月 劇団なんじゃもんじゃ「悔悟の記録」
8/16(金) 180名



客席とステージを反対にした演出で、福岡の西尾瞬三さんの一人芝居を楽しみました。

10月 多治見少年少女合唱団招待
10/26(土)ひるかわ音楽祭に出演



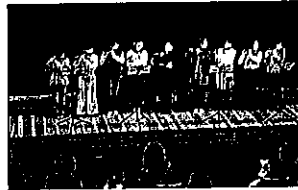
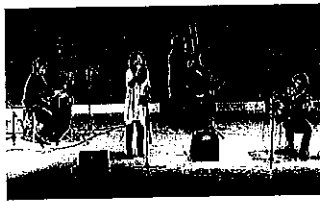
合唱団指揮者の柘植洋子さんが蛭川出身という縁で、音楽祭に特別出演。豊かな表現力は子ども達の心にも残りました。

12月 映画「人生フルーツ」上映会
12/7(土) 160名



高蔵寺ニュータウンに暮らす老夫婦の、ささやかで温かく味わい深い生活取材したドキュメンタリー、老後の生き方を考えさせられました。

2月 スクラブルコンサート 2/16(日) 150名



蛭川在住や、縁のある音楽仲間による手作りコンサートは4回目になりました。出演メンバーも少しずつ変わっていますが、このコンサートをきっかけに音楽を楽しむ仲間の輪が広がると良いですね。

※地域の情報新聞にも
掲載された
「ひるかわ音楽祭」
10月26日開催

蛭川地区の子供たち
による恒例の音楽交流

団がゲスト出演しまし
たII写真。

多治見少年少女合唱団が特別出演
ひるかわ音楽祭



中津川市蛭川の蛭川公民館で「ひるかわ音楽祭」が開かれ、名古屋フィルハーモニー交響楽団とも共演している多治見少年少女合唱団がゲスト出演しました。海外公演も経験し、年

会では15回目。保育園児は合唱、小学生は合唱

で15回目。保育園児は合唱、小学生は合唱

公民館で「ひるかわ音楽祭」が開かれ、名古屋フィルハーモニー交響楽団とも共演している多治見少年少女合唱団がゲスト出演しました。海外公演も経験し、年

海外公演も経験し、年場を魅了。最後は会場の全員で「ふるさと」を合唱し、合唱団に花束が贈呈されました。

20回以上ステージに立つ多治見少年少女合唱団がゲスト出演。小学生から高校生まで50人のメンバーが、柘植さんの指揮でオペラ「セロ弾きのゴーシュ」を披露し、表現力豊かなハーモニーで会場を魅了。最後は会場の全員で「ふるさと」を合唱し、合唱団に花束が贈呈されました。

(R元)年度 がんばる地域サポート事業 活動事例報告書

ふりがな 団体名	えぶろんしあたーろんろんかい		地域名	坂本		地区	
	エプロンシアターロンロン会		会員数	11		人	
ふりがな 代表者名	すぎむら あきこ		延べ 参加人数 内(会員数)	86人(6人)			
	梶村 明子						
事業名	がんばる地域サポート事業						
総事業費 内(補助金額)	50000 円 (50000 円)		実施期間	R元年 6月 4日 から 年 月 日まで			
事業 分類	番号	①		活動 分野	番号 ① ⑩		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
③前の二つの他、地域づくりの親縁に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的						
	老人施設ではエプロンシアターを通じ、記憶の取戻し、また楽しくリズムに乗り、体や頭を働かせ認知症予防、自立の意識を持ってもらえるよう、こども園、保育園、幼稚園においては、一般的常識、マナーや豊かな情報、思いやりの心の育成を目指す。						
	具体的な活動内容						
	老人施設20カ所以上において各月または3~4月に訪れ、シアターや手遊び、皆で楽しく歌いながらのリズム体操、紙芝居、読み聞かせ等を行った。他の団体とのコラボ(12月には医療関係者団体オカリナクラブとのコラボ)にていつもと異なった雰囲気を楽しんでもらった。子ども達には、各年齢に合わせた内容を考慮して演じている。						
	主な活動の流れ						
		6月28日 めぐみ保育園 に2上演。 シアター用紙作成	7.8月市内7ヶ所の 保育園・老施設 に2上演。 シアター用紙作成	9.10月市内7ヶ所の 保育園・老施設 に2上演	11.12月市内5ヶ所の 保育園・老施設に 2上演。	1月市内3ヶ所に2 上演。	
	4月	6月	8月	10月	12月	2月	
	具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
活動場所が前年の倍以上に増え、次回の約束を願われるようになった。時折忘れ物もあり、皆でお互いにカバーし合って乗り切っている。							
今後の展開(自立に向けた活動)							
今年は目いっぱい訪れる場所が増え、対応が難しくなってきたため、まず講習会を行い、メンバーの育成に努め、人数を増やし要望に応えていけるように努める。							

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



絆しは「い(愛染かつらや菅根崎(心中等)昔い記憶を呼び
起す為か涙が止まらない人や、大声で最後まで唄い切れる人や
楽しいひとときを!



歌に合わせて唄いながらの
手洗い指導や認知予防体操、談話防
り体操も(小学生のお手伝いにかゆい
と喜ばれた)



お誕生日もかねて、おめでたの会(クマパレットカクテル等を用いたゲーム)
金おけりも唄ったり、おどったり、にぎやかな劇。炭こう節や東おんせは
老人さんの方からメンバーをリードされ、生き生きした表情がうれしい!



年長組のエアロビクスは桃太郎、ねあみの嫁入
さくた等
セパットを用いた劇も取り入れる。



乳児~年小組、赤ちゃんでも興味を持つ様考慮する。
エアロビクスはいたずらねこちゃん、とびだちほいなおおかみん、
お、たんかくしかく等



連体に係業者と子ども達のための
メロも小学生、中学生、高校生の総出演で手遊び
観み劇かせ、子供達のエアロビクス等、子供達のは
より好評で、老人施設等も出演を要望される。